

国
語注
意

1. 監督者の合図があるまでは問題冊子と解答用紙を開かないでください。
2. 別紙の解答用紙は、マークシート解答用紙と記述解答用紙とに分かれています。指定された解答欄をまちがえないように注意してください。マークシート解答欄は余りがでることがあります。
3. マークシート解答用紙は直接コンピューターにかけますので、折りまげたり、よごしたりしないでください。また枠で囲まれた部分以外には記入しないでください。
4. マークシート解答用紙にマークするときは該当する○にはっきりとマークしてください。
マークのしかた (良い例) ●
(悪い例) ○ ⊗ ⊙ ⊖ ⊕
(万年筆、ボールペンなどは使用してはいけません)
5. マークシート解答用紙に誤ってマークした場合には、消しゴムで跡が残らないようにしていねいに消し、消しかすをきれいに払ってください。
6. 試験開始後、マークシート解答用紙には氏名、受験番号を記入し、さらにその番号をマークしてください。なお、受験番号を記入するときにはマークシート解答用紙の〔受験番号記入上の注意〕をよく読んで、まちがいのないようにしてください。
7. 記述解答用紙には、氏名、受験番号を記入してください。
記述解答問題は、この冊子の十ページに記載されています。
8. 試験終了後、この問題冊子は持ち帰ってください。

I 次の文章を読み、後の問に答えよ。

少々年をとって、このごろはしばしば死について思うようになった。こう書きかけて実はわれながらいささか落ち着きのわるいものを感じないわけではない。そうしたせりふに嘘もてらいもなかったら、このわたくしの生活にも日々もつときびしい緊張が孕^{はら}まれているに相違ない。上の言葉になにか調子の弛^{ゆる}みが自他に感じられるところに、残念ながらわたくしの正体があるのだろう。

1、死という言葉のひびきに疎遠の気持も、そしてもしかしたらはなはだしい違和の感じも、だんだんと薄らぎつつあるのはどうやら事実のようである。

数日前の新聞の「海外こぼれ話」とかいうコラムの記事がはからずもわたくしにいろいろなことを考えさせたのは、一つにはそういう心境となりがしかの関係があるかもしれない。少し長いが全文を採録してみよう。

「二十六日付ソ連作家同盟機関紙『文学新聞』はイタリア誌の転載記事として八億万長者オナシス夫妻が、死ぬと同時に自分たちの遺体を冷凍保存させ、将来再生する可能性に賭ける旨の遺言状を書いている」と伝え、その方面の最高権威ウラジミール・ネゴフスキー再生実験生理研究所長に八階級社会では死後にも平等はない」と見出しで次のように皮肉らせている。八死はすべての人を平等にするというが、階級社会では再生（復活）を支配階級の特権にしようとする試みがあるらしい。遺体の冷凍保存は非常に高くつくので、少数の大金持ちが実際化できない。金持は永遠を金で買おうとしている。▽」

その記事の信憑^{しんぴょう}性は知らないが、大船主オナシス氏^{うなわき}というかねているいろいろ人騒がせな噂話の種となった名士の話としてはよくできすぎている位だから、一応信用して閑話²を続けよう。

冷凍人間の考えそれ自体は別にそう珍らしいものではない。人間を冷凍保存する技術がいまだどこまで進んでいるかは知らないが、ウイルスや細菌はもちろんのこと、ヒトを含めて高等動物の細胞を冷凍保存して好むときにそれをもとに戻して増殖させるのは、今日では生物学、医学の研究室で日常行なわれている手続だから、生きた動物をまるまる冷凍するには、まだきわめて多くの困難な課題があるにしても、一概にできない相談ときめつけるわけにもいくまい。オナシス氏はさすがにいい見当を狙って

いるようにみえる。

ここで技術上の諸問題を検討する——それは生物学的にはたいそうおもしろい頭の体操だが——つもりはないが、わたくしがオナシス氏のために余計な心配をするのは、いよいよ冷凍処理に移されるとき彼の、いろいろな意味での人間学的な状態についてである。

話はとぶようだが、カイロの博物館で古代エジプトの美術に接したところのある人は、中でも古王国時代の彫像のわずかずを^{まぶた}瞼に焼きつけてきただろう。ところで、それらがほとんど例外なしに^{たく}逞ましく若々しく、美しいのは、エジプトの宗教の復活の信仰と関係していると言われる。墓に埋めたその王侯貴族の似姿は、いつか復活が約束されているのだが、老いさらばえたみじめな形で生きかえるのは誰しも望まないところだから、彼らは彫り師に命じて^{せんにやく}閃緑石やアラバスターにその最盛期の姿を刻ませた。そこに古代エジプト人の夢と

3

とがあつた。

オナシス氏と名指して言うのが失礼ならば、冷凍保存を志願する現代の富貴権力の人々一般と云いかえてもよい、人生の最盛期に冷凍装置に身を任せる決心をするほどのものずきはあるまいから、彼はあらゆる医療の恵みを金で買って、ついに老いて^{がん}癌か脳卒中か重篤な心筋梗塞か、おおよそそうした現代では不治とみられる病で死ぬまで幸か不幸か長生きするだろう。その形で死んでその形で生きかえるのはたいそう^{きび}淋しい次第だが、もちろん冷凍保存をまくるむ人にはもう一つ、科学の無限の進歩についての素朴な信仰があつて、いつの日かそのような病気の治療はおろか、現代生物学の深い謎の一つである老化まできれいなもとに戻す技術が完成するはずだから、その日が来たときに解凍して首尾よく生き返らせて^{もち}貰おう、というたいそう虫のいいプログラムが組まれているのである。

生物学、医学の進歩がそれに多少は似た状況を実現する日が絶対に来ないとは言うまい。だが、正直のところわたくしの医学、生物学の知識に照らして、上の注文に十分ご満足のいくようになる日付の予報は不可測の先に延ばしたい気持である。しかしそれはそれとして、取越苦勞のわたくしには、⁴ どうやらそこでは^{いき}生きる、という問題が生物学的次元だけで考えられていて、

いろいろな意味における歴史的な人間社会の問題も、生きることの意味も、どうやら考慮の外に漏れているのが気がかりだし、ことにまた、たまたま二〇世紀の半ばすぎに落陽をもよび戻すほどの財力、権勢をもった人にはその遠い未来の某日にも同じことが社会的に通用するはずだと信じきっている無邪気さが、むしろほほえましい。

こうみてくると、この新聞記事は、わたくしがいまこの雑文の筆をとっているようなひまな時間でももたないかぎり、むきになって論ずるに値するような性質の話ではないように思われる。前記ソ連の学者の批判にしても、その意見に不同意はないにしても、⁵ どうやら正直すぎる感がないでもない。

だがそれにしても、このオナシス氏の発想は、人間の科学と技術とが、月の世界の往復にみごと成功したり、かつては不可侵の聖域とされた生命の世界にさえ泥足で踏みこみそうな気配を示す、というよりは部分的にはすでにそれを現実化するまでに肥大の一途をたどりながら、その一方、同じ人間の知恵があつたファラオの時代のエジプト人たちに、ある意味ではかなり劣っているという **6A** な事実を教えている。それはわたくしに人間の歴史とはなにか、という **6B** な疑問を新たにさせる。大ピラミッドの時代と言えば、実は新石器時代から青銅器時代に移るか移らないかの遠い遠い昔であつた。

そのエジプトから二〇〇〇年あまりたつて古典ギリシャの学芸が生まれ、それから二〇〇〇年を経たおこつた西欧の科学革命から今日までさらに三〇〇〇年が流れたが、現代に入って急に加わつた加速度は人間にいろいろな意味での平衡感覚をすっかり傷つけてしまったようにみえる。それはどうやらオナシス氏ばかりの話ではない。

注 閃緑石せんのりよくやアラバスター いずれも古代エジプト彫刻に多用された石材。

(川喜田愛郎「冷凍人間」)

問一 空欄1に入るもつとも適切なものを次から選び、その数字をマークせよ(解答欄はマークシート a)。

- ① それが証拠に
- ② だがそれにしても
- ③ いつの時代も
- ④ してみると
- ⑤ 喜ばしいことに

問二 傍線部2「閑話」の意味としてもつとも適切なものを次から選び、その数字をマークせよ(解答欄はマークシート b)。

- ① 無駄話
- ② 裏話
- ③ 議論
- ④ 小話
- ⑤ 冗談

問三 空欄3に入るもつとも適切な語を次から選び、その数字をマークせよ(解答欄はマークシート c)。

- ① 傲慢
- ② 名誉
- ③ 純真
- ④ 知恵
- ⑤ 訓戒

問四 傍線部4について、「生きることの意味」を考えるとはどういうことか。その例として適切でないものを次からひとつ選び、その数字をマークせよ(解答欄はマークシート d)。

- ① 加速する科学革命と客観的に向き合う
- ② 老化を克服できる医療技術を利用する
- ③ 古代美術に込められた意図を解釈する
- ④ 人間を冷凍保存することの是非を問う
- ⑤ 人類の歴史を振り返るために本を読む

問五 傍線部5「どうやら正直すぎる感がないでもない」と筆者が考える理由を記述解答用紙I5の解答欄に則して十五字以上二十一字以内で答えよ(句読点も一字と数える)。

問六 空欄 6 A、6 B に入る語の組み合わせとしてもっとも適切なものを次から選び、その数字をマークせよ(解答欄はマークシート e)。

- | | | | | |
|---|-----|----|-----|----|
| ① | 6 A | 珍妙 | 6 B | 意外 |
| ② | 6 A | 鮮明 | 6 B | 突飛 |
| ③ | 6 A | 残酷 | 6 B | 端的 |
| ④ | 6 A | 滑稽 | 6 B | 深遠 |
| ⑤ | 6 A | 冷厳 | 6 B | 素朴 |

問七 本文の趣旨と合致するものを次からひとつ選び、その数字をマークせよ(解答欄はマークシート f)。

- ① 人類は科学の進歩とは裏腹に古代人の叡智^{えいち}を失いつつあるようだ。
- ② 巨万の富を築いた成功者でさえ生きる意味を見誤ることがある。
- ③ 人間の冷凍保存を実現するためにはクリアすべき倫理的な問題がある。
- ④ 冷凍保存を志願する人々の中にも未来を正確に予見できる人はいる。
- ⑤ 科学の進歩によって人類が不老不死を実現できる日が来るかもしれない。

II A 次の1～3の()内のカタカナを漢字に直し、4～6の()内の漢字の読みをひらがなで記せ(解答欄は記述解答用紙II 1～6)。

- 1 (ヨジン)をもっては代えがたい。
- 2 ゲームをインストールする前に、(スイシヨウ)環境を確認しなければ。
- 3 彼女は(スウコウ)な精神で物事に向き合い続けている。
- 4 使われなくなった言葉は(廃)れる運命にある。
- 5 ありのままの自己の姿を(赤裸々)に綴る。
- 6 前任者の方針を(踏襲)して、プロジェクトを進める。

II B 次の7～10の()内のカタカナと同じ漢字が当てはまるものを①～⑤からひとつ選び、その数字をマークせよ(解答欄はマークシート

g

 ～

j

)。

- 7 (ガン)意がくみ取れない。
 - ① 「ガン」旦の祝い
 - ② 沿「ガン」地方
 - ③ 「ガン」固な父
 - ④ 愛「ガン」動物
 - ⑤ 「ガン」蓄のある言葉
- 8 時間をかけて信頼関係が醸(セイ)され、彼らの絆きずなは一層深まった。
 - ① 「セイ」神統一
 - ② 「セイ」徒会長
 - ③ 「セイ」廉潔白
 - ④ 集大「セイ」
 - ⑤ 「セイ」治家
- 9 (キ)納法により原則を見出す。
 - ① 東海道の「キ」点
 - ② 「キ」宿生
 - ③ 伝統への回「キ」
 - ④ 合格「キ」願
 - ⑤ 設置「キ」準
- 10 装「シヨク」の施された美しい室内。
 - ① 粉「シヨク」決算
 - ② 「シヨク」物園
 - ③ 特「シヨク」
 - ④ 「シヨク」欲
 - ⑤ 感「シヨク」を得る

Ⅲ 以下の文章は、大火事のために寺に避難した少女お七の物語である。読んで、後の問に答えよ。

この人火元近づけば、母親につき添ひ、年頃頼みをかけし旦那寺、駒込の吉祥寺といへるに行きて、当座の難をしのぎける。

この人々に限らず、あまた御寺に駆入り、長老様の寝間にも赤子泣く声、仏前に女の二布の物を取りちらし、あるいは主人を

踏みこえ、親を枕とし、わけもなく臥しまろびて、明くれば、鏡鉞・鉦を手水盥にし、お茶湯天目も、飯の飯椀となり、この中

の事なれば、釈迦も見許し給ふべし。

お七は母の親大事にかけ、坊主にも油断のならぬ世の中と、よろづに気を付け侍る。(中略)やごとなき若衆の、銀の毛抜片

手に、左の人差指にあるかなきかの刺の立ちけるも心にかかると、暮方の障子をひらき、身を悩みおはしけるを、母人見かね給

ひ、「抜きまゐらせん」と、その毛抜を取りてしばらく悩み給へども、老眼のさだかならず、見付くる事難くて、気の毒なるあり

さま、お七見しより、「我なら目時の目にて、抜かんものを」と思ひながら、近寄りかねてたたずむうちに、母人呼び給ひて、

「これを抜きてまゐらせよ」とのよし、うれし。

かの御手を取りて、難儀を助け申しけるに、この若衆我を忘れて、自らが手をいたくしめさせ給ふを、離れがたかれども、母の見給ふをうたてく、是非もなく立ち別れさまに、覚えて

ば、これより互の思ひとはなりける。

お七、次第にこがれて、「この若衆いかなる御方ぞ」と納所坊主に問ひければ、「あれは小野川吉三郎殿と申して、先祖正しき

御浪人衆なるが、さりとはやさしく、情の深き御方」と語るにぞ、なほ思ひ増りて、忍び忍びの文書きて、人知れず遣はしける

に、便りの人かはりて、結句、吉三郎方より、思はくかずかずの文送りける。心ざし、互に入乱れて、これを諸思ひとや申すべ

し。

(井原西鶴『好色五人女』より)

注一 二布 腰巻、女性の下着。

注二 鏡鉞・鉞 寺院で用いる楽器、鳴り物。

注三 手水盥 手や顔を洗うための器、洗面器。

注四 お茶湯天目 仏前にお茶を備えるための茶碗。

注五 納所坊主 寺の事務や雑務を行う僧。

問一 傍線部1「長老様の寝間にも赤子泣く声、仏前に女の二布の物を取りちらし、あるいは主人を踏みこえ、親を枕とし、わけもなく臥しまろびて」からは、人々のどのような様子がかがえるか。もっとも適当なものを次から選び、その数字を

マークせよ(解答欄はマークシート k)。

- ① 避難してきた人々が、本当は仏教を信仰しているわけではないことがわかる様子
- ② 避難してきた人々が、日ごろの道徳や信仰を顧みる余裕を失っている様子
- ③ 避難してきた人々が多すぎて、本堂からあふれかえっている様子
- ④ 避難してきた人々が、寺の僧たちに身も心も頼り切っている様子
- ⑤ 避難してきた人々が、火の手が寺に迫ればいつでも逃げられるようにと警戒している様子

問二 傍線部 2 A「身を悩みおはしける」、2 B「悩み給へども」、2 C「取りて」の動作主の組み合わせとしてもっとも適切なものを次から選び、その数字をマークせよ(解答欄はマークシート 1)。

- | | | | | | | |
|---|-----|-----|-----|------|-----|------|
| ① | 2 A | お七 | 2 B | 納所坊主 | 2 C | 吉三郎 |
| ② | 2 A | 母人 | 2 B | 若衆 | 2 C | お七 |
| ③ | 2 A | 若衆 | 2 B | 母人 | 2 C | 納所坊主 |
| ④ | 2 A | 母人 | 2 B | お七 | 2 C | 若衆 |
| ⑤ | 2 A | 吉三郎 | 2 B | 母人 | 2 C | お七 |

問三 傍線部 3「我なら目時の目にて、抜かんものを」を現代語訳した次の文章の空欄に入る言葉を、記述解答用紙Ⅲ 3の解答欄に即して答えよ。

「私なら母親と違って、(八字以内) 目で刺を抜いてあげようものを」

問四 空欄 4に入るもっとも適切なものを次から選び、その数字をマークせよ(解答欄はマークシート m)。

- ① 毛拔を取りて帰り
- ② 若衆の手をふりほどき
- ③ 母人の目を盗み
- ④ 母に刺を見せんとし
- ⑤ おらぬふりをいたし

問五 傍線部5「便りの人かはりて」の意味としてもっとも適切なものを次から選び、その数字をマークせよ(解答欄はマークシートn)。

- ① お七が手紙を出す相手が吉三郎から納所坊主に代わって
- ② お七がたよりにする相手が母親から吉三郎に代わって
- ③ 手紙を運ぶ人が母親から納所坊主に代わって
- ④ 手紙の書き手がお七から吉三郎に代わって
- ⑤ 吉三郎に代わって手紙を受けとり

問六 吉三郎の人物像としてもっとも適切なものを次から選び、その数字をマークせよ(解答欄はマークシートo)。

- ① 幼い時から小坊主として寺で修業を重ねたため、信仰深く慎重な青年に育っている。
- ② 武士の子であり、上品で繊細な性格だが、情熱的な側面もある。
- ③ 長老の息子として大切に育てられた人で、納所坊主も一目置いている。
- ④ 寺に避難してきた人々のことには目もくれないわがままな少年である。
- ⑤ 火事を逃れて寺に避難した少年で、お七の母に甘えたい気持ちがあった。